

脊椎関節炎の疾患概念は重要!!

今回は、整形外科医のわれわれが時に診断に苦慮する脊椎関節炎の特集を門野夕峰先生が企画してくださった。整形外科専攻医にはぜひ知っていただきたい疾患概念である。

脊椎関節炎は付着部炎を共通する特徴とする慢性炎症性関節疾患群で、体軸性関節炎と末梢性関節炎に大別される。体軸性で有名なものは強直性脊椎炎があり、また末梢性では乾癬性関節炎、炎症性腸疾患に伴う関節炎、反応性関節炎がある。関節炎の発症・病態は、靱帯付着部に生ずる生体力学的ストレスによる組織損傷に対する過剰な免疫応答が誘導され、骨破壊と骨新生を伴う関節障害が進行する。病態には IL-23/IL-17 経路と TNF-誘導が重要とされている。したがって、本邦では 2010 年に TNF 阻害薬が強直性脊椎炎に対して承認され、続いて IL-17 阻害薬と JAK 阻害薬が強直性脊椎炎および X 線基準を満たさない体軸性脊椎関節炎に対して承認された。これらの分子標的薬の登場により、体軸性脊椎関節炎患者の症状や炎症をコントロールできるようになった。

一方で、体軸性脊椎関節炎において薬物治療による構造的破壊の進行抑制に関する十分なエビデンスはない。治療目標である「QOL を最大化する」ためには、薬物治療のみならず患者教育、運動などの非薬物治療も必要である。また鑑別しなければいけない疾患として、びまん性特発性骨増殖症(diffuse idiopathic skeletal hyperostosis : DISH)、掌蹠膿疱症性骨関節炎(pustule-articular osteosis : PAO)を含む SAPHO 症候群(synovitis, acne, pustulosis, hyperostosis, osteitis syndrome)などが挙げられる。

脊椎関節炎は NSAIDs が初期は効果を示すことが多いが、上に挙げた生物学的製剤を使用すると、整形外科でもリウマチを治療する整形外科へコンサルトすることが多い。また稀な疾患群であるので、診断に苦慮することがある。今回の特集は、整形外科専門医を目指す専攻医にとって大変役に立つものと期待している。(松山幸弘)

編集顧問	編集主幹
糸満盛憲	松本守雄
越智隆弘	
金谷文則	編集委員
黒坂昌弘	河野博隆
清水克時	黒田良祐
高岸憲二	酒井昭典
竹光義治	仁木久照
土屋弘行	松山幸弘
富田勝郎	山本卓明
戸山芳昭	
内藤正俊	
守屋秀繁	
矢部 裕	
山室隆夫	
吉川秀樹	

オンライン投稿
ID : rinseige
パスワード : rinseige

臨床整形外科(第 59 巻第 4 号)

2024 年 4 月 25 日発行(毎月 1 回 25 日発行)

定価 2,970 円(本体 2,700 円+税 10%)

2024 年年間購読料(12 冊 税込 配送料弊社負担)

冊子版 39,160 円

電子版(個人) 36,168 円

冊子+電子版(個人) 41,360 円

E-mail rinseige@igaku-shoin.co.jp

Web https://www.igaku-shoin.co.jp/journal/408

発行 株式会社医学書院

代表者 金原 俊

住所 〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 編集室直通(03)3817-5702(担当:志澤・前野)

販売・PR 部直通(03)3817-5650

印刷所 株式会社アイワード

広告・別刷 株式会社医学書院 電話(03)3817-5696

表紙・レイアウトデザイン 糟谷一穂

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2024, Printed in Japan
・本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。
・本誌を無断で複製する行為(複写, スキャン, デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。
大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
・JCOPY® (出版者著作権管理機構委託出版物)
本誌の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。複製される場合は, そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。
*「臨床整形外科」は株式会社医学書院の登録商標です。